

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 プライマルレイジ・リミックス	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.550	△RG 0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：PRIMAL RAGE REMIX

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：PRIMAL 50

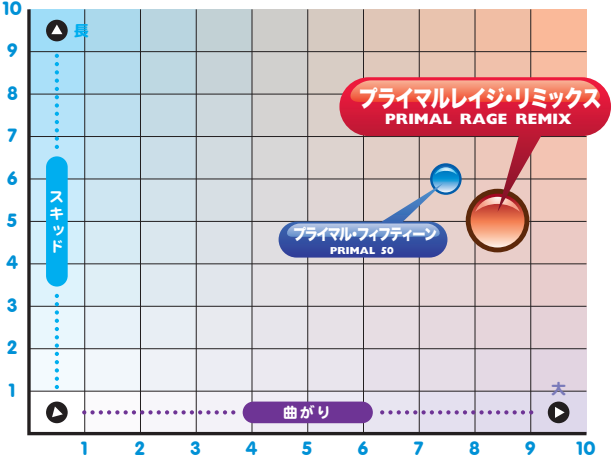
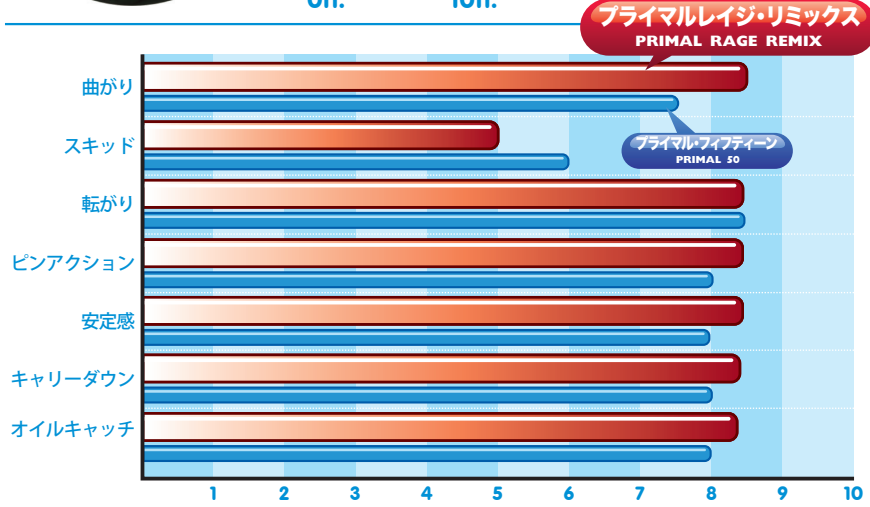
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

特記事項

日本でも大ヒットを遂げたPrimal RAGEに最新作Primal RAGE REMIXの発売です。Primal RAGEと聞けばFusion Pearl ReactiveとImpulse V2 Coreというふうに、Fusion Cover StockとImpulse Coreは代名詞になっています。今回のPrimal RAGE RemixはFusion Reactiveの強化ケミカルのRaw Fusion Hybrid Reactiveという領域は違えど、REVOLT VENGEANCE以来のHybrid Reactiveを採用しています。MOTIV社はこのREMIXにRAGEのイメージのままHeavy Oil対応のボールを作りたいかっただけなのでしょう。ですのでケミカルを強化させてもHybridのカバーストックを採用してバックエンドの強さを残し、手前のオイルの強化で4000 Grit LSSというボックスフィニッシュを選択した意図が投球して分かりました。実際に投球してPrimal50と比較してみると、明らかにRAGE REMIXはキャッチは強く感じ、Heavy Oil対応の分布はイメージできました。その中で感じたのはRAGEにみられる直線的な走り感ではなく、Mid Laneでの動きを感じながらのReaction特性がRAGEと違うところでしょう。私が感じたのはMidで噛みあがりや早めにてしまうとBackendで切れるイメージを損ないますし、ややオイルを長めに使うことも必要になると同時に、回転方向が縦目ですと切れるというよりは寄るというイメージで、回転方向を横に意識して入れてみると切れるイメージが強くなります。ポリッシュ加工を施すとRAGEのような切れるイメージもできますので、箱出しのまま投球して切れるイメージを増やしたいのであれば光沢を出す方向性も良いのではないかと思います。

このボールを待ちわびた人が多いのではないのでしょうか。Primal RAGEの強化モデルのPrimal REMIX。REVOLTとはまた違ったReaction特性ですので、MOTIVファンはお見逃しなく！